

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	美術
科目基礎情報						
科目番号	0072		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子情報工学科		対象学年	2		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	Art and You 創造の世界へ (日本文教出版)					
担当教員	岩本 宇司					
到達目標						
人の持つ感覚領域を支え、人格の形成に影響を与え、知的好奇心を刺激するものが芸術的思考や体験です。20世紀以降の美術の流れやコンテンポラリーな表現を知り、美術を理解し愛好する心情を育てると共に鑑賞や制作を通じて、アートを感じ受けるアートマインドを持った人材を育成する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	アートと友達のように付き合える人になる		。アートと友達のように付き合える人になる		アートと友達のように付き合える人になる	
評価項目2	アートを通じて豊かな人生を味わえる人になる		アートを通じて豊かな人生を味わえる人になる。		アートを通じて豊かな人生を味わえる人になる	
評価項目3	。					
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	人の持つ感覚領域を支え、人格の形成に影響を与え、知的好奇心を刺激するものが芸術的思考や体験です。20世紀以降の美術の流れやコンテンポラリーな表現を知り、美術を理解し愛好する心情を育てると共に鑑賞や制作を通じて、アートを感じ受けるアートマインドを持った人材を育成する。					
授業の進め方・方法	主に絵画・造形制作と講義					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	アートについて/手始めワーク		素材、形、空間と向き合うということ	
		2週	手を描く		視覚について	
		3週	311		制約から生み出す自由	
		4週	キュビズム		階調表現 (プリント)	
		5週	キュビズムから水彩		水彩画	
		6週	キュビズムから水彩からコラージュ		コラージュ	
		7週	アートな帽子をつくろう		紙による立体造形	
		8週	アートな帽子をつくろう		紙による立体造形	
	2ndQ	9週	中間テスト (発想力と表現力)		ペーパーテスト	
		10週	アートな帽子をつくろう		紙による立体造形	
		11週	アートな帽子をつくろう		完成へ	
		12週	ドローイング		パターンと線の集積表現	
		13週	ドローイング		パターンと線の集積表現	
		14週	ドローイング		パターンと線の集積表現	
		15週	ドローイング		パターンと線の集積表現	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	

				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	20	120
基礎的能力	50	0	0	0	50	20	120
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0